

沼田町化石館年報

Annual report of Numata Fossil Museum

第17号

Volume 17

平成 29(2017)年度

The year of 2017

2018年3月印刷

Published in 2018 Mar.

目次

1. 沼田町化石館の概要
 - 1-1. 沿革
 - 1-2. 設置目的
 - 1-3. 利用案内
 - 1-4. 施設内容
2. 事業
 - 2-1. 展示
 - (1) 常設展
 - (2) 企画展
 - (3) 特別展
 - 2-2. 教育普及
 - (1) 化石採取会
 - (2) ジュニア化石クラブ
 - (3) 体験メニュー
 - (4) 講演
 - (5) 教育普及を目的とした執筆など
 - 2-3. 広報出版活動
 - 2-4. 研究
 - 2-5. 資料管理
3. 管理運営
 - 3-1. 化石体験館利用状況
 - 3-2. 組織と職員

1. 沼田町化石館の概要

1-1. 沿革

1985 年 9 月 沼田歯鯨会設立.

1988 年 5 月 沼田歯鯨会を沼田化石研究会に
改称.

1992 年 4 月 沼田町自然史研究室を開設. 古
沢仁学芸員着任.

1998 年 4 月 古沢仁学芸員が離任し篠原暁学
芸員着任.

1999 年 12 月 自然史研究室を取り壊しのため
閉鎖. 旧社会福祉センターを沼田
町化石館として移転.

2000 年 4 月 沼田町化石館オープン

6 月 企画展「春の山野草写真展」を開
催 (6/26～8/4)

8 月 特別展「植物のたどってきた道」
を開催 (8/8～9/3)

11 月 スマタネズミイルカ発見 15 周年
を記念し原標本を初公開 (11/20～12/9)

2001 年

4 月 篠原学芸員が離任し山下茂指導員
着任.

7 月 特別展「沼田の海を泳いだクジラ
たち」を開催 (7/30～8/31)

10 月 企画展「沼田産タカハシホタテ
の謎」を開催 (10/1～31)

2002 年

7 月 特別展「世界の学説を変えたスマタ
セイウチ」を開催 (7/22～8/31)

9 月 ミニ展示として沼田のモササウルス
原標本を初公開 (9/9～10/30)

12 月 ミニ展示として町内産の化石を生
涯学習総合センターに展示 (12/24～1/31)

2003 年 8 月 山下指導員が病気により他
界.

2004 年 4 月 篠原暁学芸員再任.

7 月 特別展「世界で一つのスマタネズミ
イルカの謎」を開催 (7/24～8/29)

8 月 山下茂先生追悼企画展「水溜まりの
宝物」を開催 (8/23～31)

10 月 企画展「アンモナイトの魅力」を開
催 (10/30～11/19)

2005 年 4 月 沼田化石研究会が発展的に解散.

5 月 企画展「恐竜探検に行こう」を開催

7 月 特別展「沼田にクジラがいた頃」を
開催

10 月 企画展「新聞に見る沼田の化石研究
25 年の歩み」を開催 (10/1～14)

2006 年 5 月 特別展「タカハシホタテと仲間た
ち」を開催 (5/3～8/31)

11 月 企画展「みんなで恐竜を作ったよ」
を開催 (11/20～12/1)

2007 年 5 月 特別展「イルカとクジラはどう違
うの？」を開催 (5/3～8/31)

9 月 ジュニア化石クラブが日本地質学会
年会(札幌)で活動を発表

10 月 企画展「沼田町のタカハシホタテ」
を開催 (10/6～12)

2008 年 2 月 臨時職員の谷口真弓氏が離任

3 月 臨時職員として臼井寛子氏が着任
(3/31 まで)

4 月 臨時職員として河原幸子氏が着任

5 月 企画展「宮沢賢治と地質学」を生涯
学習総合センターで開催 (5/10～25)

6 月 沼田町化石館展示室が終了

化石体験館臨時職員として長岡亜矢
子氏を採用

7 月 幌新温泉隣接の旧陶芸館跡に沼田町
化石体験館がオープン (7/19)

2009 年 4 月 冬季閉館中だった化石体験館再開

5 月 春の企画展「沼田化石ヒストリー」を
開催

7 月 1 周年記念行事として徳川広和氏の
講演会を実施 (7/19)

特別展「白亜紀の怪物クビナガリュウ」を
開催

10 月 秋の企画展「紙の動物園」を開催

2010 年

4 月 化石体験館臨時職員として菅原瑞枝氏を追加採用

5 月 沼田町古生物復元模型完成披露&徳川広和恐竜模型展開催（5/1～5/31）

7 月 特別展「沼田の海を泳いだクジラたち」を開催（7/17～8/29）

沼田レプリカ工房作品展「動物頭骨大集合」開催

8 月 化石体験館個人有料入館者数 5, 000 人達成（8/2）

2011 年

3 月 レプリカ工房臨時職員の小坂恵子氏が離任

4 月 レプリカ工房臨時職員として春山祐子氏が着任

5 月 春の企画展「デスモスチルスと仲間たち」を開催（5/1～7/18）

7 月 特別展「これがモササウルスだ！」を開催（7/23～8/28）

2012 年

2 月 レプリカ工房臨時職員の春山祐子氏が離任

4 月 レプリカ工房臨時職員として谷口真弓氏が着任

5 月 春の企画展「不思議な生物フジツボ」を開催（5/3～7/16）

7 月 特別展「北の人魚～その悲劇の始まり」を開催（7/28～9/2）

2013 年 3 月 化石体験館臨時職員の長岡亜矢子氏が離任

4 月 化石体験館臨時職員として鶴野聡美氏が着任

5 月 春の企画展「美しきハ虫類」を開催（4/29～7/15）

7 月 特別展「追え！謎の生物デスモスチルス」を開催（7/27～9/1）

2014 年 5 月 春の企画展「次々発見！イカの

先祖たち」を開催（4/29～7/21）

7 月 特別展「僕たちだって沼田っ子」を開催

8 月 沼田町開拓 120 年記念事業
北大博物館准教授の小林快次博士が講演

9 月 レプリカ工房臨時職員の辻優子氏、河原幸子氏が離任

12 月 レプリカ工房臨時職員に高山陽子氏と沼田祐輔氏が着任

2015 年 4 月 田中嘉寛学芸員が着任

企画展「沼田は太古の水族館」を開催

5 月 化石体験館個人有料入館者数 15, 000 人達成（5/2）

7 月 特別展「ヌマタネズミイルカ」を開催

12 月 レプリカ工房臨時職員の沼田祐輔氏が離任

2016 年 4 月 吾子博明氏が着任

企画展「復元の科学」を開催

7 月 特別展「沼田を泳いでいた小さなクジラ」展を開催

3 月 吾子博明氏が離任

田中嘉寛学芸員が離任

2017 年 4 月 松井佳祐学芸員が着任

田中嘉寛氏が特別学芸員に着任

レプリカ工房臨時職員に長谷川文子氏が着任

企画展「タカハシホタテが暮らしていた」を開催

5 月化石体験館個人有料入館者数 20, 000 人達成（5/5）

6 月 中島礼博士・田中嘉寛博士の講演

7 月 特別展「アンモナイトとイルカ～清水守氏コレクション～」を開催

西村智弘博士の講演会

9 月 谷口真弓氏が離任

1-2. 設置目的

目的1. 沼田町の財産である化石を、町民にわかりやすく展示・普及すること.

目的2. 貴重な化石を地元で研究し、その成果を世界に向けて発信すること.

目的3. 学校や社会での要求が高まりつつある体験学習の場を提供し、その活動を支援すること.

目的4. 町内外の化石愛好者が交流を行う場を提供するとともに、その活動（友の会）の拠点となること.

1-3. 利用案内

沼田町化石館の施設は、レプリカ工房（市街地）と化石体験館（幌新）に分かれている.

（1）レプリカ工房

旧化石館は現在もレプリカ工房と研究室の機能を残している. レプリカ工房では大型脊椎動物の復元骨格や化石を母岩から掘り出すクリーニング作業を行っている.

【休館日】 土曜日、日曜日、祝日

【時 間】 10:00～16:00

【電 話】 0164-35-1034

【住 所】 〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7-49

（2）化石体験館

ほろしん温泉周辺のほたるの里に位置する. 館内では沼田町から発見された脊椎動物化石の復元骨格を展示し、化石に関する様々な教育プログラムを行うことができる.

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日なら開館）、祝日の翌日、冬季（11/4～4/28）

【時 間】 9:30～17:00

【料 金】 個人： 一般 500 円 / 小中高校 300 円

団体： 一般 400 円 / 小中高校 200 円

優待： 一般 300 円 / 小中高校 150 円（ほたる館宿泊者）

町民および小学校入学前の幼児は無料

【体 験】 2-2. 教育普及（3）体験メニューを参照.

【電 話】 0164-35-1029

【住 所】 〒078-2225 北海道雨竜郡沼田町字幌新 381-1

1-4. 施設内容

(1) 沼田町化石館化石レプリカ工房 (旧沼田町化石館)

【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

【構 造】木造2階建て

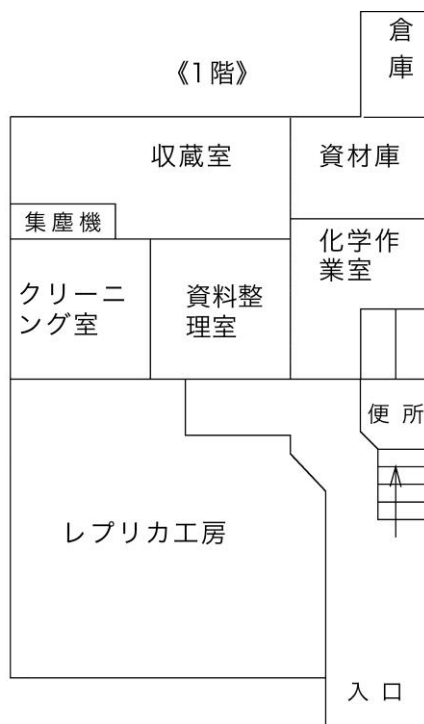
【延べ面積】322.29m²

階	室 名	面 積	機 能
1階	レプリカ工房	59.49m ²	展示用のレプリカを製作
	クリーニング室	13.22m ²	ダイヤモンドカッター，エアスクライバによる岩石切削
	化学作業室	14.87m ²	酸による化学的クリーニングなどを行う
	資料整理室	13.22m ²	レプリカ母型の一時保管場所
	収蔵庫	24.55m ²	貝や散在骨化石を収蔵，重要標本は金庫で保管
2階	収蔵作業室	105.76m ²	大きなレプリカ母型やレプリカを収蔵
	館長室および研究室	19.30m ² +10.90m ²	博物館業務およびインターネットによる情報発信

【平面図】 《2階》



《1階》



【別 館】別棟（ふるさと資料館）にレプリカ母型などを収蔵.

(2) 沼田町化石体験館 (旧陶芸館)

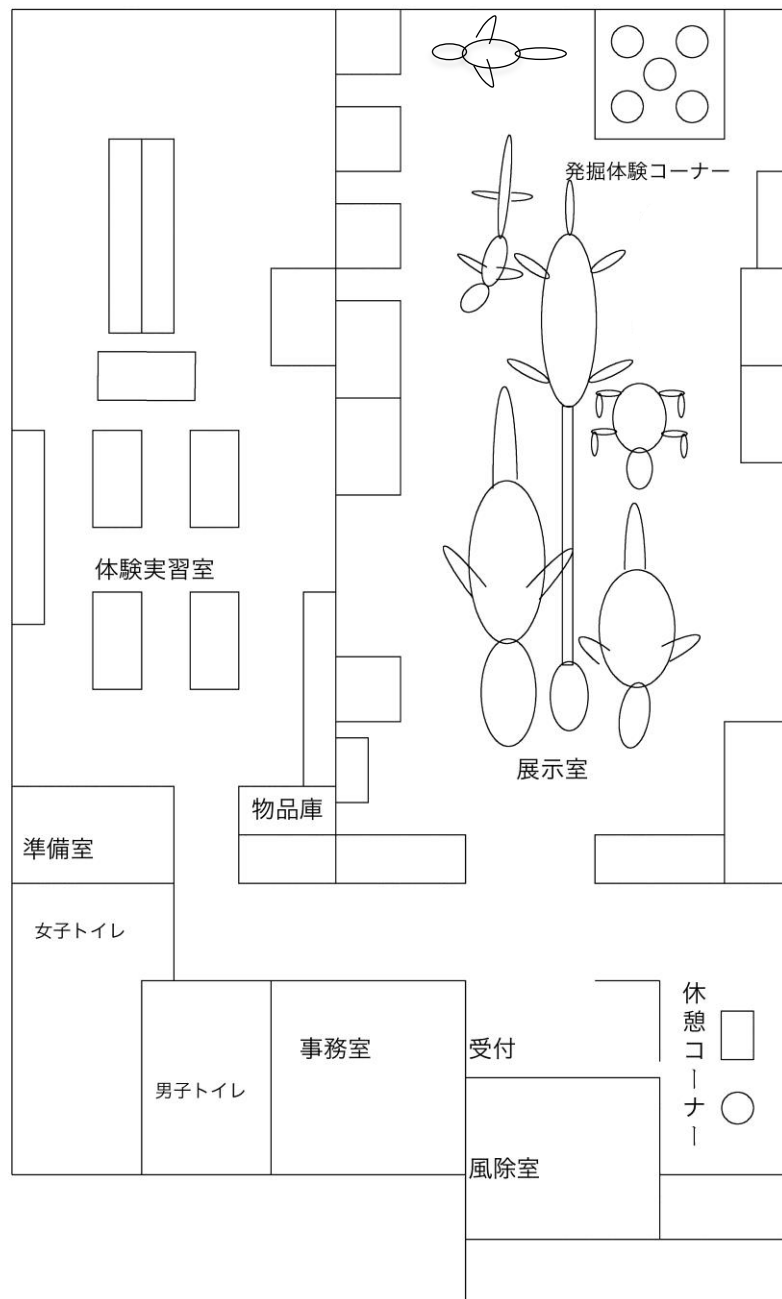
【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町幌新 381 番地の 1

【構 造】鉄骨造平屋建て

【延べ面積】333.6m²

【平 面 図】



*体験実習は 40 名まで可能

*男子トイレは車椅子対応

*休憩スペースのみ飲食可能

2. 事業

2-1. 展示

(1) 常設展 沼田町産出化石を中心に展示

■ミンククジラ（化石種），ヌマタカイギュウ，デスモスチルス，モササウルス，クビナガリユウ，アンモナイト，貝化石，植物化石，生痕化石，古生物生体復元模型を展示している．

■ヌマタネズミイルカのコーナーをアップデート．

(2) 企画展

■「タカハシホタテが暮らしていた」

【会期】4月29日（土・祝）～11月3日（金・祝）

【会場】化石体験館 展示室

【内容】現存するホタテガイとは，異なった特徴を持つタカハシホタテを最新の研究とともに紹介した．

【出版】小冊子を出版．化石館ホームページで閲覧・ダウンロード可能．

【協力】中島礼博士（産業技術総合研究所），田中三郎氏（指導員），田中嘉寛特別学芸員（沼田町化石館）企画担当．



写真： 展示の様子

(3) 特別展

■「アンモナイトとイルカ～清水守氏コレクション～」展

【会期】7月29日（土）～8月31日（木）

【会場】ほろしん温泉ほたる館ロビー

【内容】北海道羽幌町の化石愛好者の故・清水守氏が収集し，沼田町化石館に収蔵されたアンモナイトのコレクションとネズミイルカを紹介した．

【協力】清水美枝子氏には，清水守氏のコレクションを提供いただいた．田中嘉寛特別学芸員（沼田町化石館）企画担当．



写真： ほたる館ロビーでの展示の様子．

2-2. 教育普及

自然科学や化石に触れあうことを目的とした普及行事を児童生徒から大人まで対象に実施している。

(1) 化石採取会

幌新太刀別川でタカハシホタテなどの化石を1つ採取する。合計299名が参加した。

- ・第1回 【期日】6月11日(日) 【参加者】25名
- ・第2回 【期日】6月17日(日) 【参加者】43名
- ・第3回 【期日】6月25日(日) 【参加者】46名
- ・第4回 【期日】7月9日(日) 【参加者】49名
- ・第5回 【期日】7月23日(日) 【参加者】37名
- ・第6回 【期日】7月29日(土) 【参加者】31名
- ・第7回 【期日】7月30日(日) 【参加者】45名

(2) ジュニア化石クラブ

「世界に一つだけのレプリカ作り」として実施。全5回の工程で、タカハシホタテ化石から母型を制作し、その後母型から作ったレプリカに着色を行った。また、制作工程を含め作品は、町内の生涯学習総合センターゆめつくる内にて展示された。

(3) 体験メニュー

・化石模擬発掘

室内の専用発掘コーナーで本物のタカハシホタテ化石を発掘する。採取した化石はクリーニングをして持ち帰ることができる。児童限定1日5組まで。入館料と別料金、600円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約1時間

・レプリカ製作

石こうによるレプリカ作りの実習で、団体の場合は予約が必要。一般来館者は随時受講可能。1回に40名まで可能。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約1時間

【種類】タカハシホタテか三葉虫のどちらかを選択

・ミニ発掘 化石&クリスタル

アンモナイト、サメの歯など小さな化石や水晶などのクリスタルを埋め込んだ人造ノジュールを掘って中身を取り出す。1回に40名まで可能。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分

・ハイグレードミニ発掘

通常のミニ発掘よりも質の高い化石、クリスタルを使用する。入館料と別料金、600円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分。道具はハンマーとタガネを使用。

・月別体験メニュー

通常の体験メニューに加えて、月替わりでミニメニューを提供。

【実施場所】化石体験館 【料 金】入館料のみ（追加は1個200円）

【内 容】5月：プラ板でピンバッチ作り，6月：スクラッチアート，7月：天然木のキーホルダー，9月：化石マグネット，10月：オリジナル缶バッチ作り。

（４）講演

・オープニングトーク

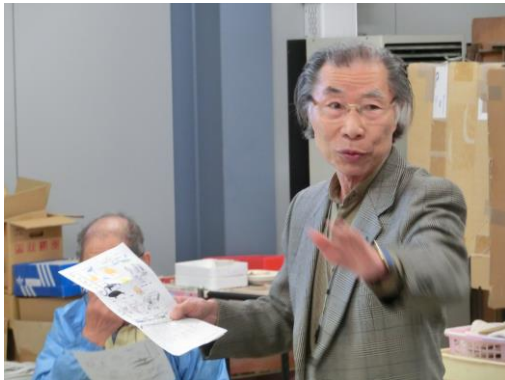
【期 日】4月29日（金・祝）

【場 所】化石体験館 体験実習室

【参加者】26名

【講 師】木村方一名誉館長，田中三郎指導員

【内 容】木村名誉館長の挨拶，田中指導員によるタカハシホタテの左右の見分け方。



写真：木村方一名誉館長（左），田中三郎指導員（右）。

・化石トーク

【期 日】6月19日（月）

【場 所】ゆめつくる

【参加者】31名

【講 師】中島礼博士（産業技術総合研究所），田中嘉寛博士（沼田町化石館特別学芸員・大阪市立自然史博物館）

【内 容】タカハシホタテや水生哺乳類のことを専門家が分かりやすく伝えた。最新の情報や，企画展「タカハシホタテが暮らしていた」に関連した話題も含まれていた。



写真：化石トーク会場の様子，中島礼博士（左）

・化石トーク

【期 日】7月30日（日）

【場 所】ほろしん温泉ほたる館

【参加者】50名

【講 師】西村智弘博士（むかわ町穂別博物館学芸員）

【内 容】「北海道のアンモナイトの魅力」特別展のアンモナイトに絡め、北海道のアンモナイトについて、わかりやすく伝えた。

・出展

【期 日】2018年1月7日

【場 所】釧路市こども遊学館

【講 師】篠原暁館長

【内 容】アンモナイト磨き

【期 日】2018年1月14日

【場 所】旭川市サイパル

【講 師】篠原暁館長

【内 容】レプリカ作り

（５）教育普及を目的とした執筆など

展示解説書

・ミニガイド5「タカハシホタテ」（当館ホームページで公開中）タカハシホタテの科学を分かりやすく紹介した、企画展の展示解説書。執筆は中島礼博士ら。

広報誌・マスメディアでの執筆・監修

- ・2017年5月 北海道新聞 「バイソン 2万年前に道内にも生息」田中特別学芸員が執筆。
- ・2017年7月 北海道新聞 「ネコ 鋭い歯 身近な肉食動物」田中特別学芸員が執筆。
- ・2017年10月 化石館だより「沼田の化石研究と博物館活動について発表しました」田中特別学芸員が執筆。

2-3. 広報出版活動

広報誌『沼田町化石館だより』を7回発行。体裁はA4版両面モノクロ印刷で、毎回1400部印刷し、町内の全世帯に配布。

- ・92号 企画展、松井佳祐学芸員、レプリカ工房臨時職員長谷川文子氏の紹介。
- ・93号 各種イベント、来館者2万人突破の紹介。
- ・94号 中島礼博士、田中嘉寛博士によるトークイベントの紹介。
- ・95号 特別展開催の紹介。
- ・96号 西村智弘博士によるトークイベントの紹介。
- ・97号 化石体験館大感謝祭と、田中嘉寛博士の化石研究成果の紹介。
- ・98号 各種イベント、冬季閉館の紹介。

2-4. 研究

＜これまでの流れ＞

これまでヌマタネズミイルカの研究成果が挙っている。2016 年 4 月に第二のヌマタネズミイルカが、11 月に第三のヌマタネズミイルカと、その系統的位置が明らかになった（詳細は前号参照）。クジラの研究も進み、学会で発表している。

＜プロジェクトの進捗と成果＞

クジラの研究で、学会で発表していたテーマ(c1, 3)は論文として用意され、学術雑誌に受理され、2018 年に掲載される見込み(p2)。これは大人になっても 3m 程度の小型ヒゲクジラが存在していたことの報告で、沼田の小型ヒゲクジラが太平洋では最北端の記録になり、生物地理的に重要な情報を提示したと考えている。

エクアドル政府の学術助成金をうけたサンタエレーナエスタル大学からの招聘を 2016 年に受けた。1 週間の滞在で、イルカ化石の研究、野外調査、講演会を行った。その成果をまとめた論文も受理され、学術誌に掲載された(p1)。これは古いタイプの新しいイルカで、新属新種ウルクデルフィス・チャウピパチャとして記載された。

研究論文 publications

(p1) Tanaka, Y., Abella, J., Aguirre-Felndez, G., Gregori, D.M., and Fordyce, R.E., 2017: A new tropical Oligocene dolphin from Montañita/Olón, Santa Elena, Ecuador. *PLoS ONE*.

(p2) Tanaka, Y., Furusawa, H., and Barnes, L.G., accepted: Fossil herpetocetine baleen whales (Cetacea, Mysticeti, Cetotheriidae) from the lower Pliocene Horokaoshirarika Formation at Numata, Hokkaido, northern Japan. *Paleontological Research*

研究発表 conference papers

(c1) 田中嘉寛, 古沢仁, ローレンス, G. バーンズ, 渡辺真人 (2017. 8) 北海道沼田町産のヒゲクジラ化石の今. 第 71 回地学団体研究会総会. 講演要旨集. P 69.

(c2) 田中嘉寛, 新村龍也 (2017. 8) 地域の標本を研究し, 技術を開発して, 展示する. 第 71 回地学団体研究会総会. 講演要旨集. P 7-8.

(c3) Tanaka, Y., Furusawa, H., and Barnes, L.G., (2017. 4) New northerly records of fossil baleen whales of the subfamily Herpetocetinae from Numata, Hokkaido, Japan. Secondary Adaption of Tetrapods to Life in Water. Berlin. (田中嘉寛, 古沢仁, ローレンス バーンズ 2017)

2-5. 資料管理

プレパレーション

松原クジラのクリーニングを継続。2014 年 12 月にクリーニング重視の体制に移行し、現在では技術は一通り定着し、習熟度が高まりより質の高い仕事をより早く行うことができる。新しいプレパレーターへの技術の継承を念頭に進める。

3. 管理運営

3-1. 化石体験館利用状況

		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	年間合計
利用者数		743 人	504 人	1, 497 人	1, 815 人	465 人	636 人	5, 660 人
前年同月		758 人	352 人	1, 478 人	1, 097 人	472 人	443 人	4, 625 人
無料利用者	幼 児	9	4	14	2	4	7	40
	学 生	85	13	22	48	11	64	2, 433
	一 般	75	85	95	103	51	197	606
	小 計	169	102	131	153	66	268	889
優待利用者	幼 児(0)	2	1	0	0	0	0	3
	学 生(150)	1	0	0	0	0	0	1
	一 般(300)	22	19	23	15	28	14	121
	小 計	25	20	23	15	28	14	125
通常利用者	幼 児(0)	33	23	76	89	27	20	268
	学 生(300)	77	27	87	170	30	43	434
	一 般(500)	261	84	252	354	113	92	1, 156
	小 計	371	134	415	613	170	155	1, 858
団体利用者	幼 児(0)	22	12	65	104	24	29	256
	学 生(200)	42	137	375	447	60	48	1, 109
	一 般(400)	114	99	495	483	117	122	1, 430
	小 計	178	248	935	1, 034	201	199	2, 795

※4 月利用分は 5 月に、11 月利用分は 11 月にそれぞれ含まれる。

3-2. 組織と職員

【平成 29 年度職員構成】（平成 30 年 3 月 31 日現在）

名 誉 館 長 木村 方一 （北海道教育大学名誉教授）

館 長 篠原 暁 （教育委員会主幹）

学 芸 員 松井 佳祐 （教育委員会主事）

特別学芸員 田中 嘉寛 （大阪市立自然史博物館）

教育委員会事務局兼務

主 査 渡辺 忍

社会教育主事 富田 匠

社会教育主事 和田 章人

化石レプリカ工房

臨 時 職 員 高山 陽子

臨 時 職 員 長谷川 文子

化石体験館

臨 時 職 員 菅原 瑞枝

臨 時 職 員 鵜野 聡美

沼田町化石館年報 第17号

発行日 2018年3月31日

発行者 沼田町化石館

執筆・編集 松井佳祐・田中嘉寛

〒078-2202

北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

電話 Fax 0164-35-1034

Mail: kaseki@guitar.ocn.ne.jp

※本誌は沼田町化石館のホームページから pdf としてダウンロードできます